

〔国際学会講演会1〕

## ウクライナの視点



パンコーヴァ オルガ

### はじめに

皆さん、こんにちは。私はパンコーヴァ オルガと申します。

ウクライナの大学を卒業後、2004年来日しました。日本語学校を経て、2006年4月に敬愛大学国際学部国際協力学科に入学し、2010年3月に卒業しました。卒業後は帰国し大学院を経て、在日ウクライナ大使館に1年間勤務した経験もあります。

2022年3月にロシアによる軍事侵攻によりウクライナから避難、日本在住の知人を頼り、お母さんと息子と共に来日し、4月から敬愛大学に務めています。

本日はお忙しい中お越しいただき、誠にありがとうございます。どうぞよろしくお願い致します。

### ウクライナの基本データ

まず、ウクライナの地理からお話したいと思います。ウクライナは東ヨーロッパに位置しています。東はロシア、北はベラルーシ、西はポーランド

ド、スロバキア、ハンガリー、西南にはルーマニア、モルドバがあります。南は黒海に面し、クリミア半島北東側はアゾフ海、トルコなどに面しています。ウクライナの面積は60万3,700km<sup>2</sup>、日本の約1.6倍です。人口は2021年時点で（クリミア半島を除く）約4,150万人で日本の約3分の1です。首都はキーウです。民族構成は、ウクライナ人約77%、ロシア人約17%、そしてベラルーシ人、モルドバ人、クリミア・タタール人などが約0.5%です。主な産業は農業で、宗教はウクライナ正教、言語は公用語と教育語はウクライナ語です。

ウクライナの国旗は青と黄色の2つの色の旗です。青は空、黄色は麦畑を表わしています。国章は青盾に黄金のトルィーズブ（三叉戟）が描かれていて、大公ヴォロディーメル1世が用いた紋章に由来します。国章はБОЛЯ（ポーニャ）の文字がデザインされていますが、БОЛЯは日本語で「自由」という意味です。

日本人がウクライナについてもっているイメージの例

- ・ 1986年にチェルノブイリ原子力発電所事故が発生したこと
- ・ 元サッカー選手シェフチェンコ
- ・ 日本にもよく知られているキーウバレエ団
- ・ 元ボクシングチャンピオン兄弟。兄のビタリ・クリチコは現在キーウ市長を務めています。
- ・ 若い世代ならYouTuber サワヤン兄弟

## ウクライナの歴史

古代、現在ウクライナがある土地に多くの遊牧民が到来していました。紀元前8世紀、スキタイ人がキンメリア人を追い払い、国家が成立します。紀元前4世紀、黒海沿岸にギリシャが植民都市を建設しました。紀元前3世紀、中央アジアよりサルマティア人が入ってきました。2世紀、東ゴート族が侵入しました。

9世紀頃、首都をキーウとする最初のスラブ人国家、キーウ・ルーシ（キーウ大公国）が誕生しました。そしてこの国が現在のウクライナ、ベラルーシ、ロシアの元になったと思われます。

988年にヴォロディーミル聖公がキリスト教を受け入れ、ルーシ語で典礼を行い、ギリシャ、ローマに次ぐ第三のキリスト教圏が成立します。1037年に現在は世界遺産になっている、聖ソフィア大聖堂が立てられました。

次にコサック時代とロシア時代を紹介します。16世紀頃、ウクライナ南部にコサックの国家が成立しました。コサックとは軍事的共同体のことで、ウクライナの自由と独立のために戦いました。1648年には、コサックの棟梁であるポフダン・フメリニツキーはポーランドと戦いました。1654年、ポーランドとモスクワ大公国により分割されました。

19世紀には、ウクライナ民族運動が盛んになりました。ウクライナの詩人・画家タラス・シェフチェンコによるウクライナ語文法が成立し、1834年にはタラス・シェフチェンコ記念キーウ国立大学が設立されました。キャンパスは首都キーウにあります。

1917年にロシア革命が起こりました。2月革命後、ウクライナでは中央ラーダ政権が誕生しますが、ロシアの臨時政権と自治をめぐって対立しました。10月革命を経て中央ラーダは「ウクライナ人民共和国」として独立を宣言します。しかし、ロシア・ソビエト政府はこれを認めず赤軍を派遣、放逐された中央ラーダ政権はドイツの力を借りて戦い続け、以降3年にわたる内戦に突入しました。

1919年、第3回全ウクライナ・ソビエト大会で「ウクライナ社会主義共和国」が成立、1922年12月、ソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）の構成共和国となりました。

1932年から1933年までウクライナ人が住んでいた地域でホロモドールと呼ばれる人工的大飢饉が起きました。ソ連が1929年から行った農業集団化のシステムが原因です。ウクライナ自営農家の土地は没収され、農民は国营農場に組織されていきます。収穫した穀物はソ連政府に徴収され、輸出されました。その輸出量は膨大で、恵まれた土壌をもつウクライナでも、課

された生産目標の達成は困難でした。

1941年にドイツとソ連が戦争を始め、ウクライナは最も激しい戦場になりました。第2次世界大戦の結果としてガリツィア地方、ベッサラビア地方、北ブコヴィナ地方が新たにウクライナ（ソ連）の領土に編入されました。

1986年4月26日にチェルノブイリ原発事故が起き、甚大な被害を受けました。原発の近くにあったプリピャチ市では、3日間で戻れると思って避難していた住民が、二度と地元に戻ってくることができませんでした。事故から35年以上たった今でも、ウクライナ人は様々な健康被害に苦しんでいます。

## 独立後のウクライナ

1991年8月24日にウクライナは独立をしました。キーウの独立広場の中央にある塔はウクライナ独立記念碑です。塔の上には国の象徴的な花であるガマズミの枝を掲げる女神の像が立っています。

キーウの人口は約295万人です。東ヨーロッパにおけるもっとも古い都市で、キリスト教の聖地の一つです。

ウクライナの民族衣装といえばヴィシヴァンカ（Vushuvanka）です。ヴィシヴァンカとは刺繍が入ったブラウズのことです。男性が着るものはソロチカといいます。女性は頭の上に花やりボンなどで手作りされた、ヴィノクを飾ります。刺繍のデザインは地方によって違いがあります。

ウクライナの代表的な料理はボルシチです。ボルシチは様々な野菜で作ります。ボルシチの赤い色は赤ビーツで、最後にサワークリームを加えて食べます。2022年7月1日にボルシチは、ユネスコでウクライナの無形文化遺産として認定されました。

その他、ヴァレーニキ、サーロ、ゴルブッツィ、ムリンツィなどの料理が有名です。

2014年2月に、EUに加盟したい国民と、ロシアともっと深く関係を結びたい政府との間で紛争が起こってしまい、首都キーウの独立広場で抗議デモが発生しました。ウクライナの当時の政府側との暴力的衝突の結果、100人以上のデモ参加者が死亡しました。親ロシア派のヤヌコビッチ大統領はロシアに亡命しました。

2014年3月、ロシアがウクライナ領であるクリミア半島で不正な国民投票を行い占領し、その後、ウクライナの東部（ドネツク、ルハンスク）でも戦争状態に陥り、ウクライナ東部のドネツク州とルガンスク州の一部を、親ロシア派が占拠しました。

2015年に停戦協定「ミンスク合意」が成立し、ある程度は戦闘が落ち着きましたが、この紛争の結果、13,000人以上が犠牲となりました。

私は2022年1月からウクライナで日本語教室を開設し、これから行う授業の計画を立てたり、資料を作ったり、日本の伝統や文化について学んだり、忙しくも充実した日々をおくっていました。

## ウクライナへの侵攻開始

2022年2月25日から空襲警報のサイレンが鳴り始め、爆発音も聞こえるようになったので、私たちは同じマンションに住んでいる人たちと地下室に降りることにしました。すぐ避難できるように、私たちは昼も夜も同じ服装で過ごすことになりました。地下室は日頃、マンションの用務員が道具などを保管している場所で、寒く、クモの巣がはっていたりしていても汚いのです。

一週間経っても状況は悪化するばかりでしたので、私たちもキーウから避難することにしました。

列車にはトランクなどの大きな荷物を持ち込むことができないので、簡単に持ち運ぶことのできるリュックに、取り急ぎパスポート、薬、お金など最低限必要な物を詰め込み、友達に教えてもらった支援先に電話にかけてキーウ駅まで送ってもらい、何とか電車に乗り、ウクライナ西部のリヴィウへ行きました。次の日には現地で知り合いになった女性の車に乗せて



私たちの地下での生活

もらい、ポーランドへ向かいました。

ポーランドにいる間に日本政府がウクライナ人避難民の受け入れを決定したため、日本へ行くことに決めました。

## 日本での生活

日本での身元保証人になってくれた大学時代の友人が、成田空港に迎えに来てくれました。そして、2010年に卒業した母校・敬愛大学で職員として採用していただき、授業で大学生に自分の経験を語ったり、留学生の生活支援をしたりしています。

私の息子は千葉市内の小学校に通い始めました。当初は日本語がわからなくて大変だったのですが、ポケトークや携帯電話の通訳機能を利用し、徐々にですが慣れていきました。担任の先生は優しく、同級生たちも困ったことがあったら助けてくれています。

4月から7月にかけて運動会、校外学習、遠足など様々な行事にも参加しました。ウクライナと日本の習慣の違いから細かいトラブルもありましたが、とても楽しく過ごすことができています。

お母さんも日本語がわからなくて非常に困っているので、週に一回市民ボランティアによる「いなげ土曜にほんご教室」に通うことにしました。ひらがなやカタカナ、日常生活に必要な表現などを少しずつ学んでいます。ポ



母校・敬愛大学で就職が実現



榎本潤さん、J・スコラーズの皆さんと

ランティアの方は、息子の学校の宿題を手伝ってくれます。お母さんと息子が通う日本語教室の夏祭りでは、浴衣試着体験もできました。

ピアニストの榎本潤さんの招待で、私たちは「J・スコラーズ」の合唱会を訪ねました。ウクライナをサポートするためにウクライナ国歌を合唱してくれました。素晴らしい演奏でした。

学生の協力を得て、敬愛大学でウクライナ支援チャリティバザーを実施しました。息子と同じ小学校に通っている子供たちも協力してくれました。折り紙や青と黄色のリボンでウクライナの国旗の色の花やハート、リボン、髪飾りなどを作ってくれました。収益金は日本ユネスコ協会を通じて、ウクライナで困っている人に届けられました。少しでもウクライナ避難民の

力になるとうれしいです。

## 残念ながら、戦争は続いている

私たちが日本に避難した後も、ロシアによる新たな攻撃や犠牲者についてのニュースが毎日のように報道されています。たくさんのウクライナ人が不自由な暮らしを強いられ、何の罪もない市民や子供が殺されています。

2022年9月、ロシア大統領の命令を受け、慌てて「偽の国民投票」を行い、ウクライナ東部・南部（東部ルハンスク、ドネツク両州と南部ヘルソン州、ザポリージャ州）の4州のロシアへの併合を一方的に宣言しました。欧米諸国や日本は軍事的占領地での住民投票を「国際法違反」と強調し批判を強め、併合は一切認めておらず、その対立の激化から戦況の混迷がさらに深まるのは避けられません。

私たちウクライナ人は自由を愛する国民です。

私たちは8年間、ロシアからの侵略に抵抗し続けています。

今、私たちの国の運命が決定されようとしています。

ウクライナ人が自由になれるかどうか、

私たちが民主主義を守れるかどうか、決められようとしています。

9月11日を思い出してください。2001年の恐ろしい日。誰も予想できなかった形で、罪のない人々が攻撃されたことを。

今のウクライナは毎日これを経験しているのです。ウクライナの各都市で。オデーサ、ハルキウ、チェルニヒウ、スーミ、ジトーミル、リビウ。マリウポリ、ドニプロ。何万人という罪のない市民の命が失われています。

ロシア軍はすでに3,000発近くの実弾ミサイルをウクライナに向けて発射しました。数え切れない空爆の数。これは世界がこの80年間見たことのなかったテロ行為です。

## おわりに

ウクライナ人にとって最も困難な時期にウクライナへの支援やサポート



をしてくださる日本政府をはじめ、日本人一人ひとりの皆さんに心から感謝いたします。

私の一家を経済的にも道徳的にも支えてくださっている、そして多くのウクライナ避難民を支えてくださっているすべての方々に感謝いたします。今日私の話を聞いてくださっている皆様に、感謝いたします。

ご清聴ありがとうございました。